DVD±R/RW/RAM

セットアップガイド

DVR-UEN18GL

B-MANU200576-01

I-O DATA

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI

このたびは、「DVR-UEN18GL」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に「本書」をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願い致します。

動作環境の確認

対応機種[*1]	USB 2.0※2(USB 1.1※3)ポートまたはIEEE 1394※2ポートを搭載したDOS/Vマシン（弊社製USBインターフェイスまたはIEEE 1394インターフェイスを搭載したDOS/Vマシンを含む）
対応OS[※4]	Windows XP[※5]/Windows 2000 Professional/Windows Me[※5]
搭載CPU[※6]	●データ保存時：Pentium III 450MHz以上　●ビデオ編集・DVD鑑賞時：Pentium III 800MHz以上（リアルタイムレコーディングを行う場合はPentium 4 1.8GHz以上）
メモリ	256Mバイト以上（512Mバイト以上推奨）
ハードディスク[※6]	空き容量 10Gバイト以上（20Gバイト以上推奨）
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度
インターネット	CPRM技術で録画されたDVDメディアをWinDVDを使って再生、またはDVD MovieWriterで編集する場合には、インターネット接続環境が必要です。
対応メディア[※7]	●DVD：DVD-R[※8、※9]、DVD+RW、DVD-R[※9、※10]、DVD-RW、DVD-RAM[※11]、DVD-ROM　●CD：CD-R、CD-RW、CD-ROM

	メディア	メディアの速度	メーカー名
推奨メディア[※12]	1層DVD+R	16倍速（最大18倍速書き込み[※15、※16]）	太陽誘電
		16倍速	日立マクセル、三菱化学
		8倍速（最大16倍速書き込み[※15]）	太陽誘電
		8倍速	ソニー、日立マクセル
	2層DVD+R	8倍速	三菱化学
		2.4倍速	日立マクセル、三菱化学
	DVD+RW	8倍速	日立マクセル、リコー
		4倍速	三菱化学、リコー
	1層DVD-R[※13]	16倍速（最大18倍速書き込み[※15、※16]）	太陽誘電、三菱化学
		16倍速 Labelflash™対応	富士フイルム、当社製 DVD-R4.7LF
		16倍速	日立マクセル
		8倍速（最大16倍速書き込み[※15]）	ソニー、日立マクセル
		8倍速	太陽誘電、三菱化学
	2層DVD-R	8倍速	三菱化学
		4倍速	三菱化学
	DVD-RW[※13]	6倍速	日立マクセル、ビクター、三菱化学
		4倍速	TDK、ビクター、三菱化学
	DVD-RAM[※13]	12倍速	日立マクセル
		5倍速	Panasonic、日立マクセル
		3倍速	Panasonic、日立マクセル
	CD-R	三菱化学	
	CD-RW	三菱化学	

ご注意
●DVD+R/RW/-R/-RWメディアで作成したDVD-ROM・DVDビデオは、搭載のDVD-ROMドライブ、DVDプレーヤー、対応ゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
●上記の表作成にあたり、速度でも、提供年メディアの品質によって は、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

製品仕様

ドライブ名	AD-7173A(OEM供給元：ソニーNECオプティアーク株式会社)
インターフェイス仕様	USB 2.0（USB 1.1）、IEEE 1394
設置条件	設置方向：水平、垂直（書き込み12cmメディアのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
データバッファサイズ	2Mバイト
書き込みエラー訂正機能	搭載

最大書き込み/読み込み速度		1層+R	2層+R	+RW	1層−R	2層−R	−RW	RAM	ROM
	DVD								
	書き込み	×18	×8	×8	×18	×8	×6	×12	−
	読み込み	×16	×12	×12	×16	×12	×12	×12	×16
	C D	−R	−RW	ROM					
	書き込み	×48	×32	−					
	読み込み	×48	×40	×48					

Labelflash™のレーベル面描画速度	描画方向	回転数	解像度
	約6分	7,875rpm	182dpi
	約11分	4,500rpm	303dpi
	約21分	2,250rpm	605dpi

※書き込み時間は1枚あたりの目安です。ライティング設定によって書き時間は変動します。

適合フォーマット	●DVD：DVD-ROM、DVD-Video ●C　D：CD-ROM Mode1、CD-ROM Mode2（form1、form2）、CD-DA、CD-Extra、CD-I、Video CD、CD-TEXT、PhotoCD
書き込み方法	●DVD+R/+RW：Disc at Once、Random Write、Sequential write ●DVD-R/-RW：Disc at Once、Incremental、Multi-Border、Restricted Overwrite[※] ●DVD-RAM　：Random Write、Sequential Write ●CD-R/RW　：Disc at Once、Session at Once、Track at Once、Packet Writing ※DVD-RWのみ
電源仕様	AC 100V±10%、50/60Hz
定格電流	5V：1.5A、12V：1.0A
動作温度	+5〜+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%〜80%（結露なきこと）
外形寸法	170(W)×270(D)×50(H)mm（突起部分を除く）
質量	約1.4kg（ACアダプター を除く）

※1 よりほしい対応機種情報を当社製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2 USB 2.0搭載は、パソコン本体に標準で搭載されているUSB 2.0搭載で、ご利用のOSに対応したドライバがインストールされている必要があります。（Microsoftが製品版 2.0ドライバを提供）搭載のUSB 2.0インターフェイスをご利用の場合は別売USB 2.0インターフェイスボードをご購入ください。（USB 1.1対応）

●接続された USB 2.0インターフェイスに対応したドライバがインストールされていない場合、環境によっては本製品の最大性能を発揮できない場合があります。

●弊社製USB 2.0インターフェイスをお使いの場合には最新のサポートソフトを当社ホームページよりダウンロードしてお使いください。

※3 USB 1.1ポートに接続した場合には、USB 1.1 規格にて動作します。

●USB 1.1 環境で書き込みまたは読み込みをおこなった場合、DVD では最大 0.9 倍速、CD では最大 8 倍速となります。

●USB 1.1 環境で DVD ビデオを再生する場合、十分な転送速度が得られないために乱れることがあります。（環境によります。）（推奨はビデオタイトルによって異なります。）

※4 DVD メディアへ 12 倍速以上で書き込みをおこなう場合の環境構成は下記の通りです。
●搭載 CPU：Pentium 4 2.8GHz 以上
●ハードディスク：Ultra ATA/66 以上で接続されたハードディスク（DMA 転送モード）
●OS：Windows XP Service Pack 2 以降
●テープセット：9割 5 以降

※5 「DirectX 9.0」をご利用になるには、Service Pack 1 以降がインストールされた環境が必要です。

※6 32 bit 環境、Windows XP/2000 Professional が必要です。
●Data Recorder DVD/CD Solo Edition で編集もした DVD の複製を解除する
●DVD MovieWriter の「おまかせボックス」機能を使う

※7 書き込める 12cm メディアの対応については、●DVD：CD への書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※8 2 層 DVD+R メディアについてはテキサンシンにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※9 2 層 DVD±R メディアに「印刷 CLEN」にて書き込みを行った場合、他のドライブでは読み込むことはできません。

※10 2 層 DVD-R メディアへの書き込みは、ディスクアットワンDVA形式にて書き込みを行ってください。

※11 カートリッジから取り出し不可能なメディア（TYPE Ⅰ および 2.6G バイト / 面のメディアには対応しておりません。

※12 推奨メディアに以外を使用した場合は、メディアの品質によって正常に書き込みおこなえない場合があります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※13 「Labelflash SOLID 4 Specialty」にて対応した一部 8 倍速（作 DVD を作成する場合には、推奨メディア欄にて表示されております。）製の CPRM 対応 DVD-R/RW for VIDEO メディアをご利用ください。

※14 2 倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※15 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しております。全ての書き込みにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。メディアの品質によっては、書き込みエラーが発生する場合があります。倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

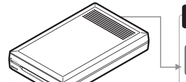
※16 IEEE 1394 接続の場合、1 層 DVD±R メディアへの書き込み速度 16 倍速になります。

1.準備しよう

内容物を確認します

□ にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

□ ドライブ（1台）



□ ACアダプター（1個）



□ 縦置きスタンド（1個）

□ USBケーブル（1本）



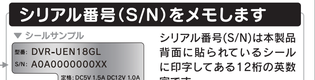
□ IEEE 1394ケーブル（6-4ピン/1本）



☑ DVR±R/RW/RAMセットアップガイド（本書/1枚）
□ Labelflash™簡単ガイド（1枚）
□ DVD Proツールズコレクション（CD-ROM/1枚）
□ Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内（1枚）
□ ゴム足（8個）【縦置用：4個/横置用：4個】
□ ハードウェア保証書（1枚）

シリアル番号（S/N）をメモします

▼ シールサンプル



シリアル番号（S/N）は本製品背面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。
（例：A0A0000000XX）
シリアル番号（S/N）は最新ファームウェアのダウンロードなどの際に必要な場合があります。

↓ここにシリアル番号（S/N）をメモしてください。

最新ファームウェア等のダウンロード

http://www.iodata.jp/lib/

ユーザー登録

http://www.iodata.jp/regist/

Labelflash™専用メディアについて

レーベルフラッシュ書き込みを行う場合にはLabelflash™専用メディアが必要です。ご入用の際は是非、弊社インターネット通販サイト「IoPLAZA」をご利用ください。

[ioPLAZA] http://www.ioplaza.jp/

※商品カテゴリ内リストレージ＞オプション＞テープルよりお求めいただけます。

製品名	電子リテルル付製Labelflash™対応データ用DVD-R（4.7GB 1〜16倍速記録対応）
型番	DVD-R4.7LF

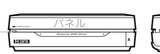
ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

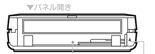
ご注意

各部の名称

ドライブ前面



▼パネル開き



アクセス/Powerランプ
電源ON時：緑色に点灯します。
書き込み/読み込み時：黄色に点滅します。

イジェクトボタン
押すとトレイが開きます。

緊急イジェクトホール
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

注意
●アクセスランプの点滅中はパソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
●イジェクトボタンを押した際は、すぐ指を離してください。パネルやトレイに指を挟む危険があります。

ドライブ背面



電源コネクター
添付のACアダプターを接続します。

USBコネクター
添付のUSBケーブルを接続します。

IEEE 1394コネクター
添付のIEEE 1394ケーブルを接続します。（左:4ピン/右:6ピン）

電源スイッチ



電源を上のように切り替えます。
※【AUTO】（電源連動機能）については起動【電源連動機能とは？】をご覧ください。

2.接続しよう

本製品をパソコンに接続します

※Windows XP/2000でセットアップを行う場合には、管理者権限でログオンしてください。

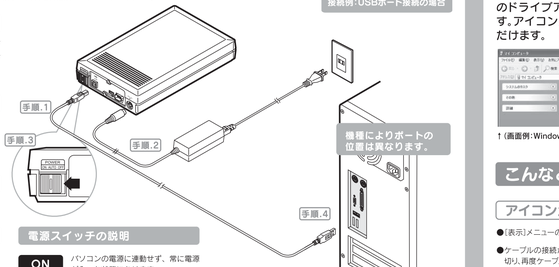
接続例：USBポート接続の場合

手順.1
本製品に添付のUSBケーブルまたはIEEE 1394ケーブルをつなぎます。

手順.2
添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

手順.3
電源を入れます。

手順.4
パソコンのポートにつなぎます。



本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。

電源スイッチの説明

ON	パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。
AUTO	パソコンの電源に連動して本製品の電源がON/OFFされます。（電源連動機能）
OFF	パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

注意
●USBとIEEE 1394は同時に接続しないでください。故障の原因となります。
●本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

電源連動機能とは？

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が【AUTO】の状態の時のみ有効です。
この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。
また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。
※複数のIEEE 1394機器をデイジーチェーン接続でお使いの場合など、環境によっては本製品の電源連動機能が働かない場合があります。



縦置きにする場合

手順.1
添付の縦置きスタンドの裏に、添付のゴム足を4枚貼り付けます。



手順.2
イジェクトボタンが下になるように立て、縦置きスタンドを本体に取り付けます。

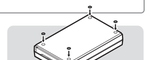


手順.3
イジェクトボタンが上になるように縦置きにします。



横置きにする場合

ドライブの底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。



注意
●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
●縦置き時、8cmメディアは使用できません。

ご注意
電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

3.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

パソコンを起動して【マイコンピュータ】を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。



↑（画面例：Windows XP）

アイコンの追加を確認
※ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。

Windows XP以外の場合
左記のアイコンの追加を確認します。

こんなときには

アイコンが追加されていない場合

●【表示】メニューの【最新の情報に更新】をクリックしてみてください。

●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください）また、別のポートに挿し直してみてください。

●添付のCD-ROMに収録されているQ&AのQ01「本製品をパソコンに接続しても認識しない（本製品のアイコンがマイコンピュータに表示されない）」をご参照ください。

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合

【キャンセル】ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

こんなときには

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

その他ご注意

●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。

●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。

●本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。

●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

4.その他

取り外し手順について

本製品をパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。（画面例：USB接続でWindows XPの場合）

手順.1
タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



表示されるアイコンはOSによって異なります。

手順.2
本製品の表示をクリックします。
複数の機器を接続している場合は、ドライブ文字（番号）で判別してください。
（画面例：Eドライブの場合）



手順.3
メッセージを確認します。
（Windows 2000/Meの場合は【OK】をクリックします。）



手順.4
パソコンのポートから、本製品のケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。

AUTOの場合、自動的に電源が切れます。左記、【電源連動機能とは？】をご参照ください。

こんなときには

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

その他ご注意

●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。

●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。

●本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。

●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

裏面へお進みください。

てっトリ早く DVDを使ってみよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

DVDを再生したい → **WinDVD 5**

DVD再生ソフト

市販のDVD や作成したDVDビデオ、または家庭用 DVD レコーダーで 録 画 さ れ た DVD±R/RW、DVD-RAM を再生することができます。

DVDビデオを作りたい → **DVD MovieWriter 4.7**

DVDオーサリングソフト

既存の映像ファイルや DV カメラの映像を使って、DVD ビデオを作成する際に使用します。

データDVDを作りたい → **GOLD8 Security**

データライティングソフト

通常のデータ CD/DVD 作成に加えて、暗号化 CD/DVD を作成することもできます。

※市販のデータライティングソフト(パケットライトソフト)がインストールされている場合には、本ソフトをインストールせずに、それらのソフトをアンインストールしてください。

※DirectX 9 がインストールされていない場合では、B's Recorder GOLD8 Security の インストール 時 に DirectX 9 が自動的にインストールされます。

ドラッグ&ドロップでデータを書き込みたい → **B's CLiP**

パケットライトソフト

インストールすると、DVD-RAM/DVD±RW/CD-RW メディアにドラッグ & ドロップでデータを書き込むことができます。

※市販のデータライティングソフト(パケットライトソフト)がインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。

Labelflash™機能を使いたい → **labelFOLIO**

Labelflash™ 書きさんソフト

Labelflash™機能を用いて、対応メディアのレーベル面に描画を行うためのソフトです。
レーベルのデザインも同時に行えます。

※市に B's Recorder GOLD8 Security がインストールされている必要があります。

Labelflash™機能の使い方については、別紙【Labelflash™ 機能ガイド】をご覧ください。

必要 添付の「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMにはその他に以下のソフトウェアも収録されています。

EasySaver LE SO-DATA	**データバックアップソフト：**あらかじめ設定しておくだけで自動的にデータのバックアップを取ることができます。 ※本ソフトは製品版EasySaverの機能限定版です。
AdobeReader Adobe	**PDF文書ファイル閲覧ソフト：**各ソフトに付属しているPDF形式の文書ファイルを読む際に使用します。
見張りトレイ SO-DATA	**トレイコントロールユーティリティ：**パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。
オンラインマニュアル SO-DATA	本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困ったときには」などについて説明しています。

用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。

※Windows XP/2000の場合は管理者（Administrator）権限でログオンしてください。

1 添付のCD-ROMを本製品に挿入します。

2 メニューが表示されたら[インストールする]をクリックします。

3 インストールしたいソフトをクリックします。

4 表示に従ってインストールを進めます。

5 インストールが完了します。（再起動が必要な場合があります。）

必要 シリアル番号/CD-Key
- ●B's Recorder GOLD8 Security ：
- ●B's CLiP6 ：
- ●WinDVD 5 for OEM ：

こんな時には…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

注意 B's Recorder GOLD + B's CLiPを使用する際のご注意

- ●記録方式は追記(オープン)にしてください。書き込み(ライト)しないまま書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- ●マルチセッション・マルチボーダー(セッション毎にデータを追記することでCD上に記録したデータの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューのプロパティに表示されるCD容量とは異なりますのでご了承ください。
- ●書き込みの容量しか表示されません。
- ●書き込みの容量しか表示されません。
- ●2 枚DVD-R メディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- ●2 枚DVD±R メディアに「B's CLiP」で書き込みを行った場合、他のドライブで読み込むことはできません。
- ●一度でも書き込みに失敗した DVD-R/-RW/CD-R メディアは使用しないでください。正常に 動 作 しない 場 合 が あ ります。書 き 込 み に 失 敗 した DVD±RW/±RW/CD-RW メディアは「B's Recorder GOLD」を使用してフォーマットを実施した後にご利用ください。
- ●一度でも「B's Recorder GOLD」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD」と本製品を使用してください。
- ●また、いったん「B's CLiP」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合も、必ず「B's CLiP」と本製品を使用してください。
- ●一度「B's CLiP」でフォーマットした DVD+RW/-RW/-RAM/CD-RW メディアを再フォーマットする場合は、「B's Recorder GOLD」や「B's Easy」ついった標準装備しており、「B's CLiP」で再フォーマットしてください。

注意 DVD MovieWriter 4.7 SE with VR for I-O DATA、WinDVD 5 OEMを使用する際のご注意

- ●本製品のリージョンコードは、出荷時状態で「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証を致しかねます。
- ●CPRM規格で録画されたDVDメディアを再生・編集するには、サービスパックやCPRM Pack をダウンロードし、インストールする必要があります。ネイングーネット接続環境が必要です。なお、ダウンロード回数には制限があります。ダウンロードしたプログラムは大切に保管してください。手順については、本製品のオンラインマニュアルをご覧ください。

てっトリ早く DVDビデオを再生しよう

1 WinDVD 5 OEMを起動します。

[InterVideo WinDVD]アイコンを**ダブルクリック**

こんな時には…
■Windows XPでセキュリティの警告が表示される
→キャンセルをクリックします。

2 再生するDVDビデオを挿入します。

挿入すれば、自動的にDVDビデオの再生がスタートするよ。

こんな時には…
■CPRM技術で録画されたDVDを再生しようとしたら下記のようなメッセージが出た・・・

→CPRM Packをダウンロードする必要があります
ダウンロードおよびインストール手順については本製品のオンラインマニュアル内[DVDビデオを観る]をご覧ください。
(添付CD-ROMのメニューより[オンラインマニュアル]を選び[]をクリックし、本DVDドライブの製品型番を[クリック]し直します。)

困った時には…
添付CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
インターデジタルハウス テクニカルサポート
045-226-3899
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(祝日を除く)

てっトリ早く データDVDをつくってみよう

1 B's Recorder GOLD8 Securityを起動します。

[B's Recorder GOLD8 Security]アイコンを**ダブルクリック**

2 表示されるメニューから[データCD/DVD]を選択します。

クリック

3 上段で保存したいデータを選択して下段にドラッグ&ドロップします。

ドラッグ&ドロップ

てっトリ早く
デスクトップとやエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップすることもできます。

ドラッグ&ドロップ

4 メディアを本製品に挿入して[開始]をクリックします。

クリック

こんな時には…
■DVD+R/-R/-RWメディアを挿入した下記のようなメッセージが出た…

→DVD-RWの場合

●書き込みデータを追加して書き込む場合
[追記可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。
●書き込み済にデータを追加する予定がない場合
[互換性を重視し追記不可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

5 書き込みを開始します

①「書き込み」を選択
②[開始]をクリック

完成！

困った時には…
添付CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
ビー・エイチ・エー テクニカルセンター **06-4861-8234**
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(祝日を除く)

てっトリ早く DVD-RAMに書き込もう

※ 1～5の手順は初めてDVD-RAMメディアを使う際のみ必要です。
※DVD±RW、CD-RWメディアも同様の手順でデータを書き込むことができます。

1 DVD-RAMメディアを本製品に挿入します。

2 マイコンピュータを開き、本製品のアイコンを右クリック→[B's CLiPフォーマット]をクリックします。

①アイコンを右クリック
②[B's CLiPフォーマット]をクリック

3 本製品を選択し、[次へ]をクリックします。

①本製品を選択
②[次へ]をクリック

4 [次へ]をクリックします。

クリック

5 フォーマットが完了すると以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックしますこれでDVD-RAMへドラッグ&ドロップするだけでデータを書き込むことができます。

クリック

5 必要に応じて[ボリュームラベル]、[UDFバージョン]を設定し、[完了]をクリックします。
⇒フォーマットが始まります。

クリック

クリック

てっトリ早く DVDビデオをつくろう

1 動画ファイルを準備します。

●TVキャプチャ
●VHSビデオテープ
●DVカメラetc.

※動画ファイルの作成方法やDVカメラとの接続方法はお使いのキャプチャ機器・DVカメラの取扱説明書をご参照ください。

2 [DVD MovieWriter 4.7 SE with VR for I-O DATA]を起動します。

[DVD MovieWriter 4.7 SE with VR for I-O DATA]アイコンを**ダブルクリック**

3 表示されたメニューから[ビデオDVDの作成]をクリックします。

クリック

4 [DVD-Video DVD+VRの新規作成]をクリックします。

クリック

5 [メディアの追加]枠の中からをクリックします。

クリック

6 ビデオに書き込みたいファイルを選択します。

①ファイルを選択
②[開く]をクリック
③サムネイルが追加されているか確認
④[次へ]をクリック

7 この場面では必要に応じてメニュー画面の設定を変更することができます。

[次へ]をクリック

8 この場面では実際にメディアに書き込む前に動作チェックをすることができます。

[次へ]をクリック

9 本製品にメディアを入れて、書き込みを開始します。

[書き込み開始]をクリック

完成！

困った時には…
添付CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
ユーリードサポートセンター
045-226-1966
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(祝日を除く)

メニュー画面の編集もかんたん！

オリジナルの背景画像やBGMを設定しておけるメニュー画面を作成することもできます。

クリックでメニュー画面のタイトルを変更できます。

クリックでシーンのタイトルを変更できます。

あらかじめ用意されているテンプレートから、お好みのデザインを選んで切り替えることができます。

●詳しい使い方は[DVD MovieWriter 4.7 SE with VR for I-O DATA]のヘルプをご参照ください。

てっトリ早く
デスクトップとやエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップしてサムネイルリスト上動画ファイルを追加することもできます。

ドラッグ&ドロップ

オンラインマニュアルを活用してさらにDVDを使いこなそう

本書では、各ソフトの基本的な使い方のみを記述しております。さらに高度な使用方法については、各ソフトのオンラインマニュアルをご覧ください。(オンラインマニュアルはこのPDF形式で収録されております)

DVD MovieWriter 4.7 SE with VR for I-O DATA
のオンラインマニュアルを活用する
[スタート]メニューの[Ulead DVD MovieWriter 4.7 SE with VR for I-O DATA]に登録されます。

B's Recorder GOLD 、B's CLiP 、labelFOLiO
のオンラインマニュアルを活用する
[スタート]メニューの[B.H.A]または各ソフトウェアのヘルプに登録されます。

DVDドライブ本体、EasySaver LE 、見張りトレイ
のオンラインマニュアルを活用する
[スタート]メニューの[I-O DATA]に登録されます。

WinDVD 5 OEM
のオンラインマニュアルを活用する
[WinDVD 5 OEM]を起動し、ヘルプを起動します。

必要 インストールすると登録される各オンラインマニュアル以外にも、添付のCD-ROMにオンラインマニュアルが収録されています。
①「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMをお取出しセットします。
自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROM(D:)[Menu].exe]を起動してください。
②[オンラインマニュアルを読む]ボタンをクリックし、本DVDドライブの製品型番をクリックし、起動します。

クリック
クリックするアイコンが表示

困ったときには

DVD MovieWriter 4.7 SE with VR for I-O DATA で困ったら…

1 ソフトウェアのオンラインマニュアルを確認する。
2 ホームページでサポート情報を見る。
http://www.ulead.co.jp/
それでも解決しなかったら
3 サポートに問い合わせる。

ユーリードシステムズ株式会社
ユーザーサポート係
TEL 045-226-1966
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(祝日を除く)
※お問い合わせの際はユーザー登録が必要です。
※オンラインFAQ(よくあるご質問)集および、各ソフトウェアを起動した[ヘルプ]メニューの[サポート情報]からもご利用いただけます。
http://www.ulead.co.jp/
E-Mail: 上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

GOLD8 Security や **B's CLiP** 、**labelFOLiO** で困ったら…

1 ソフトウェアのオンラインマニュアルを確認する。
2 ホームページでサポート情報を見る。
http://help.bha.co.jp/
それでも解決しなかったら
3 サポートに問い合わせる。

株式会社ビー・エイチ・エー
テクニカルサポートセンター
TEL 06-4861-8234
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(祝日とビー・エイチ・エーの休業日を除く)
※お問い合わせの際はビー・エイチ・エー様へのユーザー登録が必要です。
http://www.bha.co.jp/
E-Mail: 上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

DVDドライブ本体 や EasySaver LE 、見張りトレイ で困ったら…

1 添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルのQ&Aを確認する。
2 ホームページでサポート情報を見る。
●製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/
●最新サポートソフト
http://www.iodata.jp/lib/
それでも解決しなかったら
3 サポートに問い合わせる。

株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター
TEL[東京] 03-3254-1095
TEL[金沢] 076-260-3688
FAX[東京] 03-3254-9055
FAX[金沢] 076-260-3360
[受付時間] 09:30～19:00 月～金曜日(祝日を除く)

InterVideo WinDVD 5 のお問い合わせ

インタービデオジャパン株式会社 テクニカルサポート
TEL 045-226-3899
FAX 045-226-3895
受付時間：09:30～12:00/13:30～17:00 月～金曜日(夏季・年末特定休業日、祝祭日を除く)
http://www.intervideo.co.jp/support/
E-Mail: techsupp@intervideo.co.jp

修理について

修理を依頼する前に

以下の事項をご確認ください

●お客様が組られたシームなどについて
修理の際に、製品ご自分で組まことがあります。その際、誤ご製品されているシールなどは決れたままのでご了承ください。

●修理金額について
■保証期間中は、無料にて修理いたしますただしハードウェア保証は製品本体のみとし、延期定にご指定する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が使用されてから一定期間が過ぎた製品は、修理ができない場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復送料ご指定指定をご案内いたしますが修理するかをご検討の上、検討結果を知らしてご返送ください。ご依頼時にご連絡をお知らせいただければ、修理金額をFAXにてご連絡させていただきます。

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の手順で行ってください。

1.メに役え、お手元に書いてください。
お送り頂く製品の製品名、シリアル番号(製品に貼付されたシールに記載されています。)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

2.これら を同封してください。
■保証書
※保証書を記入した上、ご購入時のレシートまたは納品書のコピーを同封してください。
■この内容を書いたもの
・直送先(住所/氏名/あれば)FAX番号) ・日中にご連絡できる電話番号
・ご依頼修理内容(どうなった) ・故障状況(どうなった)

3.修理品を梱包してください。
箱とご同梱した物を修理品と一緒に梱包してください。
箱緩衝材などの梱包材は、ご購入時の箱・梱包材をご使用してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、簡単に梱包してください。

4.修理をご依頼ください。
■修理頂き、下の送付先までお送りいただきますようお願いします。
※修理品にご依頼内容をメモなどを入れてください。
※送料無料期間を過ぎた場合は、着払いでお送りいただきますようお願いします。
■送付の際は、必ず宅配便でお送りください。万が一の紛失等の際の責任は負いかねます。

送付先 〒920-8513 石川県金沢市相目町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

■修理品前書後、通常1週間ほどで弊社より返送できます。
また、転送の場合や修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

使用上のご注意

著作権について
この製品およびソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から使用許諾を得ている素材を制作する手段としてのものであり、もしあなたが著作権を所有していない場合は、著作権保有者から使用許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償を含む補償義務を負うことがあります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

本製品のライティングソフトウェアについて
■本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で作成のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は修理ではなくご交換いたしかねますのでご了承ください。
■書き込みに失敗したメディアの保証はいたしておりません。
■DVD-R/RW(VR)、CD-RWメディアの書き込み(記録)は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してください。
■「B's CLiP」はCD-RWに対応しておりません。

地域コード(リージョンコード)について
本製品は、日本の地域コードである「2」に設定されています。ソフトウェアDVDビデオ(ムービー)などで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。

商標について
■WinDVDは、台湾CyberLink Corp.の登録商標です。
■Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
■その他、一般に社名、製品名などの商標または登録商標です。
■その他一般に社名、製品名などの商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を形に
株式会社 アイ・オー・データ機器
〒920-8513 石川県金沢市相目町2丁目84番地
ホームページ http://www.iodata.jp/support/

2006.7.14 Copyright © 2006 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.